



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp



第668号
2025年3月24日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

2025年度八千代市予算案 市民の暮らしを守る予算となっているか

八千代市の2025年度予算案を審査する特別委員会が3月6日から12日まで行われました。会派日本共産党からは堀口明子議員が委員として審査にあたりました。

2025年度予算は、5月に市長選挙が行われることから骨格予算であると説明がされましたが、骨格予算とは言えない内容となっています。

通常骨格予算というのは、最低限決めておかなければならない義務的な経費などを予算化し、選挙後、新たに就任する市長のもとで、公約に基づく政策的な経費を補正予算として計上、計画を進められるようになっていきます。

増大する市の借金に市民から不安の声

しかし、市長より説明された2025年度予算案は、家庭でいう貯金にあたる財政調整基金約30億円のうち、19億円も取り崩し、市の借金である市債発行が、近年になく約85億5千万円も発行しています。みどりが丘小学校分離新設校設置にかかる必要な事業も含まれますが、10億円を超える大型事業が4事業も予定もされています。今後この負債を誰が負うのか？と、不安になった市民の声が日本共産党の元に届いています。

「防災道の駅」事業は防災ではない？

予算委員会で明らかとなった事業の一つに「防災道の駅」があります。以前より日本共産党は、新川沿いのふるさとステーションを防災の拠点にすることに疑問を投げかけていました。国からの事業であることや防災マップからぎりぎり外れているなどの回答はありましたが、2025年度は、事業費約21億円のうち市債発行額は約15億円であること。さらに驚くことに防災と銘打っていますが、「緊急防災・減災事業債」が使われていません。

予算委員会で「防災道の駅」に関する質問に対し、「老朽化した建物のリニューアルのため、緊急防災・減災事業債は使えない」と答弁されました。また、今ある建物の他に新たな建物(レストラン)も計画されています。

日本中で災害が続き、防災のためと言われれば早急に！行われる昨今、「緊急防災・減災事業債が使えないのは防災の事業ではない」と国から言われているのも同然の事実ではないでしょうか。

●参考：八千代市ホームページ

「防災道の駅やちよ・八千代ふるさとステーション」の
基本設計が完了しました。

<https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/39/42419.html>



暮らし、福祉、安全な八千代市へ

日本共産党は、物価高騰のなかで何よりも市民の暮らしをどう守っていくのか問われているとして2025年度予算案に反対し、代替案となる組替え動議を提案し、市民の暮らし、福祉、安全のための予算となるよう取り組みます。